

令和6年度使用

小学校用教科用図書研究資料

算 数

宮崎県教育委員会

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点1〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 算数科の目標を達成するために、習熟度に応じた「ほじゅうのもんだい」や単元末の「たしかめよう」等で学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。</p> <p>また、学習内容の系統性を意識しながら理解を深められるように、関連性のある単元を連続的に配置するなどの構成・配列の工夫がされている。</p>
4 大日本	<p>(1) 算数科の目標を達成するために、習熟度に応じた単元末の「たしかめ問題」や巻末補充問題「プラス・ワン」で学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。</p> <p>また、関連性のある単元を前後に配置したり、学習内容の系統性、領域のバランス等を考慮したりするなどの構成・配列の工夫がされている。</p>
11 学 図	<p>(1) 算数科の目標を達成するために、補充的・発展的な課題に取り組むことができる「もっと算数」、「できるようになったこと」等で学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。</p> <p>また、連続して扱うことで身に付く学習内容と、スパイラルを意識することで身に付く学習内容を選別して配置するなど、児童にとって学びやすい構成・配列の工夫がされている。</p>
17 教 出	<p>(1) 算数科の目標を達成するために、習熟度に応じて練習問題量を調整できる「ステップアップ算数」や単元末の「たしかめよう」等で学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。</p> <p>また、関連性のある単元を連続して配置することで、既習事項を活用しながら習熟を図ることができる構成・配列の工夫がされている。</p>
61 啓林館	<p>(1) 算数科の目標を達成するために、習熟度に応じた「もっと練習」や単元末の「学びのまとめ」等で学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。</p> <p>また、児童が苦手としやすい単元を分割して配置し、年間を通して定着が図られるようにするなど、スパイラルを意識した構成・配列の工夫がされている。</p>
116 日 文	<p>(1) 算数科の目標を達成するために、基礎的・基本的な内容の定着を図る「学習をたしかに」、習熟度に応じた「算数マイトライ」等で学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。</p> <p>また、計算などの基本的な内容は前の時期に配列し、児童が苦手としやすい単元は後ろの時期に配列するなどの構成・配列の工夫がされている。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点2〕 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	<p>(1) 数学的な見方・考え方を働かせるために、吹き出しや補助発問を単元前半は丁寧に、単元中盤から後半はシンプルに設定して思考の活性化を図るなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫がされている。</p> <p>(2) 計算方法の確認動画や、不足しがちな図形単元の追加練習問題等の演習コンテンツを豊富に設定するなど、「知識・技能」を確実に習得できるような工夫がされている。</p> <p>(3) 学びを整理し深めるノート指導に関して、思考の流れに即したノートづくりや、ICT 機器を活用した際のノートの活用例を掲載するなど、今後の学習につながる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫がされている。</p>
4 大日本	<p>(1) 数学的な見方・考え方を働かせるために、「じっくり深く学び合おう」を適宜設定し、多様な解決方法を比較検討して話し合う活動を設けるなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫がされている。</p> <p>(2) 豊富な適用問題や、巻末補充問題「プラスワン」を全単元に設定し、学習の個別化が実現できるようにするなど、「知識・技能」を確実に習得できるような工夫がされている。</p> <p>(3) 学びを整理し深めるノート指導に関して、1学年からノートの書き方例を段階的に掲載し、徐々に表現力も向上させるなど、今後の学習につながる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫がされている。</p>
11 学 図	<p>(1) 数学的な見方・考え方を働かせるために、単元導入で「はてなを発見」を設定し、生活や算数の中にある問題を自らの力で見つけることができるようにするなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫がされている。</p> <p>(2) 特に児童がつまずきやすい内容や苦手とする内容を「算数パトロール隊」として適宜設定するなど、「知識・技能」を確実に習得できるような工夫がされている。</p> <p>(3) 学びを整理し深めるノート指導に関して、2学年から「ノート名人になろう」を設け、表現力を育むノート作りのポイントを掲載するなど、今後の学習につながる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫がされている。</p>

17 教 出	<p>(1) 数学的な見方・考え方を働かせるために、「はてな」「なるほど」などの吹き出しを使って、問いをもち、学び合い、考えを深める授業を展開できるようにするなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫がされている。</p> <p>(2) 巻末に「学びのマップ」を設定し、既習事項を振り返る際に、いつでも確認して学び直しができるなど、「知識・技能」を確実に習得できるような工夫がされている。</p> <p>(3) 学びを整理し深めるノート指導に関して、ノートを見合う活動を取り入れて、互いの考え方や表現の仕方を学べるようにするなど、今後の学習につながる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫がされている。</p>
61 啓林館	<p>(1) 数学的な見方・考え方を働かせるために、めあてにつながる問いや気づきを掲載して主体性をもたせ、その後の学び合いで深めたいポイントを見える化するなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫がされている。</p> <p>(2) 巻末に「もっと練習」を設定し、補充問題や挑戦問題を用意して、習熟度別学習にも対応できるようにするなど、確実に「知識・技能」を習得できるような工夫がされている。</p> <p>(3) 学びを整理し深めるノート指導に関して、2学年から「算数ノートをつくろう」を設け、振り返りに役立つポイントを示したノート例を掲載し、今後の学習につながる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫がされている。</p>
116 日 文	<p>(1) 数学的な見方・考え方を働かせるために、毎時間に「めあて」と「まとめ」を設け、学習過程を可視化するとともに、筋道を立てて考えるための着眼点を示すなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫がされている。</p> <p>(2) 巻末の「算数マイトライ」で、「基礎・基本」「応用・発展」「探究」の習熟度別の問題を設定するなど、「知識・技能」を確実に習得できるような工夫がされている。</p> <p>(3) 学びを整理し深めるノート指導に関して、筋道を立てて考える力や表現力を育てるために、思考過程や友達の考えを書き示したノート例を掲載し、今後の学習につながる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫がされている。</p>

3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
2 東 書	(1) 児童にとって分かりやすくするために、第3学年以降の単元導入には、学校や日常生活との関連を重視した動画コンテンツ「オープニングムービー」を適宜設定することで、児童が学習動機を明確にもち、学ぶ意義や楽しさを実感しながら主体的に学習に取り組む態度を育てるように配慮されている。
4 大日本	(1) 児童にとって分かりやすくするために、第2学年以降の教科書を学年1冊にするとともに、「ふりかえりコンテンツ」や「練習問題コンテンツ」など、充実した適用問題、補充問題を設定することで、児童が学び直しを行いやすく、知識・技能を身に付けることができるように配慮されている。
11 学 図	(1) 児童にとって分かりやすくするために、算数における「見方・考え方」をキャラクター化し、教科書の適切な箇所に示すことで、児童が自分の考えを広げたり、新しい考え方を発見したりして、楽しみながら学習を進めることができるように配慮されている。
17 教 出	(1) 児童にとって分かりやすくするために、各単元のまとめとして4コマ漫画や穴埋めでまとめる場を設定したり、つまずきやすい問題をクローズアップしたりすることで、児童が学んだことを意欲的に振り返り、「考えるヒント」を見て自分で考えることができるように配慮されている。
61 啓林館	(1) 児童にとって分かりやすくするために、1単位時間の学習内容をページ末で区切り、「めあて」と「まとめ」を明記するとともに、「数学的な考え方」を明確化して掲載することで、児童が主体的に学習に取り組み、対話的な学びが充実するように配慮されている。
116 日 文	(1) 児童にとって分かりやすくするために、第2学年以降の巻末に問題解決の過程や、算数で使いたい「見方・考え方」を示したシートをつけることで、児童が学習を進める際の着眼点に気付き、特に、思考力・表現力を身に付けることができるように配慮されている。

種目 算数

※ 表内の数値は、算数で設定した内容項目により全発行者について調査したものであり、数値の大小を表面的にとらえるのではなく、具体的な内容と合わせて各発行者の特徴をとらえる参考とすること。

視点	発行者		2 東書	4 大日本	11 学図	17 教出	61 啓林館	116 日文
	① 総ページ			294	293	354	312	281
② 重さ(グラム)	上		246	481	356 380	501	447	534
	下		239					
③ サイズ	縦(cm)×横(cm)		25.7 ×18.3	25.7 ×18.2	25.7 ×21.0	25.7 ×18.2	25.7 ×18.2	25.8 ×18.2
種 目 別	④ プログラミング教育を取り入れた内容のページ数		上1 下1	4	上0 下2	2	2	2
	⑤ 単元構成以外で、練習問題や補充的な問題を掲載しているページ数		24	25	28	30	33	44
	⑥ 単元構成以外で、これまでの学習を生かした主体的・対話的で深い学びを意識した問題を掲載しているページ数		14	6	11	10	18	11
	⑦ A数と計算	ページ数	74	76	92	75	68	78
		割合(%)	25.2	25.9	26.0	24.0	24.1	24.0
	⑧ B図形	ページ数	83	86	97	88	75	90
		割合(%)	28.2	29.3	27.4	28.2	26.6	27.6
	⑨ C変化と関係	ページ数	43	40	57	47	46	40
		割合(%)	14.6	13.6	16.1	15.0	16.3	12.3
	⑩ Dデータの活用	ページ数	19	24	25	21	19	22
割合(%)		6.4	8.1	7.0	6.7	6.7	6.7	

調査対象は、各発行者の5年生の教科書

①の総ページ数は、ロ絵や折り込みも含めた全体のページ数。上下巻に分冊のものは合計ページ数を示している。